

洪水に備えて 洪水浸水想定区域とともに情報入手方法や日頃からの備えを確認しておきましょう。

情報の伝わり方

災害時に正しい情報入手して、冷静に行動することは、被害や不安を軽減することにつながります。

テレビ、ラジオ、インターネットなどを利用し、積極的に情報を収集しましょう。



●テレビ
●ラジオ(防災ラジオ)
 水戸市では、水戸コミュニティ放送株式会社(FMはるるん)との連携により、市内の被害状況や避難所の開設などの情報をFMはるるん 76.2MHz から放送します。
 また、防災ラジオは、水戸市が避難に関する情報を発信するときに、電波が自動で入る機能等があり、浸水想定区域内にお住まいの方等に無償で貸与しています。
 ※突発放送(AM1197kHz)、NHK(AM594kHz)等とも連携し、上記の情報を随時発信します。

●インターネット
●市ホームページ
●広報車(市・消防署・消防団)
●防災行政無線
●緊急速報メール
●防災メール

●SNS(LINE, Facebook, Twitter)

LINE @mitocity
<https://line.me/R/ti/p/%40mitocity>

Twitter @kouhou_mito
https://twitter.com/kouhou_mito

Facebook @mimika310
<https://www.facebook.com/mimika310>

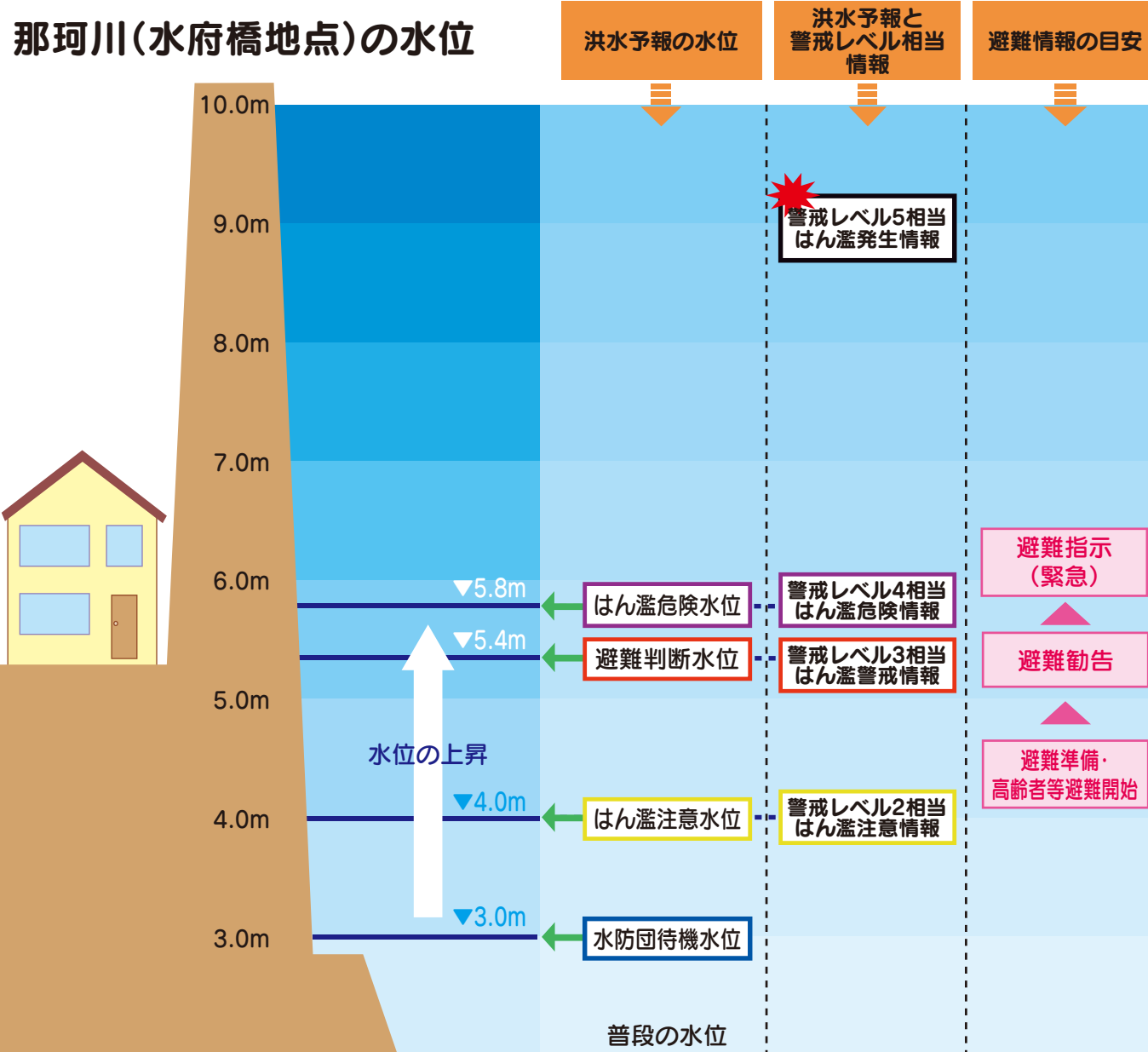
水戸市防災メール
<http://www.city.mito.lg.jp/>にアクセス → 「メールマガジン配信申込み」をクリック → 「災害情報」にチェック → メールアドレス等を入力 → 「送信」をクリック → 確認用メールが配信されます。

こんなときに避難を呼びかけます

水府橋地点の水位が、図のような水位となった場合に、避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急)の3段階による避難を呼びかける情報を発表します。

過去の水害の事例や那珂川の水位の上昇する時間を考慮し**避難の目安を表示**していますが、雨の降り方によっては早期に那珂川の水位が上昇する場合がありますので、**下記の水位よりも早く避難勧告等を発表する場合があります。**

※堤防の整備状況等が異なりますが、これまでの最高水位は、令和元年10月の台風第19号洪水時に記録した9.84mです。



避難情報にご注意を

■避難勧告(警戒レベル4)で浸水想定区域など危険な場所から全員避難しましょう。

※警戒レベルは、水害に備えて市民の皆さんがとるべき行動をお知らせするために、危険度を5段階にレベル分けしたものです。

緊急度	警戒レベル	発令時の状況	とるべき避難行動
高	警戒レベル5 【市が発令】	●既に災害が発生している状況	●命を守るための最善の行動をしてください。
	警戒レベル4 避難指示(緊急) 直ちに避難 【市が発令】	●人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断される状況	●危険が迫っているため、緊急に避難してください。浸水などにより外が危険な場合は、屋内の高いところに避難してください。
	警戒レベル4 避難勧告 全員避難 【市が発令】	●人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況で、避難行動を開始しなければならない段階	●速やかに避難してください。浸水などにより外が危険な場合は、屋内の高いところに避難してください。
	警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始 【市が発令】	●人的被害の発生する可能性が高まった状況で、特に避難行動に時間を要する方が避難行動を開始しなければならない段階	●高齢者の方、体の不自由な方、小さな子どもがいる方など、避難に時間がかかる方とその避難を支援する方は避難を開始しましょう。 ●上記以外の方は、家族等との連絡、非常持ち出し品の用意等、避難準備をしましょう。
	警戒レベル2 【気象庁が発表】	●大雨や洪水により災害が起こるおそれがある予想される場合	●避難に備え、ハザードマップ等から避難行動の確認をしましょう。 ●雨や川の様子に注意しましょう。
低	警戒レベル1 【気象庁が発表】	●今後、大雨注意報などが発表される可能性がある場合	●今後、大雨注意報などが発表される場合があります。災害への心構えを高めましょう。

水戸市洪水ハザードマップについて

- この洪水ハザードマップは、国土交通省が平成28年5月30日に公表した浸水想定区域図をもとに作成したもので、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨により那珂川、藤井川、桜川、湯沼川がはん濫した場合の状況を予測し、浸水の区域や浸水深を表示した図面です。
- 想定最大規模降雨
現状の科学的な知見や研究成果等からある程度の確からしさをもって想定し得る最大規模の降雨です。
 ・那珂川 那珂川流域 48時間 総雨量459mm
 ・藤井川 藤井川流域 48時間 総雨量833mm
 ・桜川 桜川流域 24時間 総雨量671mm
 ・湯沼川 湯沼川流域 48時間 総雨量726mm
- 支川の決壊によるはん濫、想定最大規模降雨を超える規模の降雨によるはん濫、高潮及び内水によるはん濫等を考慮していませんので、この地図において浸水しない表示となっている地域においても浸水が発生する場合や、地図記載の水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

安全な避難のために

- ①避難の準備**
 非常持ち出し品の用意や、動きやすい服装に着替えひもでしめられる運動靴を用意しましょう。
- ②避難するときは**
 降雨や河川水位などの情報をもとに、身の危険を感じたら避難勧告等を待たずに自主的に避難しましょう。
 また、避難する前に隣近所に声をかけ、なるべく集団での避難の心がけましょう。
- ③経路の確認**
 避難場所等までの経路を確認し、安全に避難できるようにしておきましょう。
- ④車での避難は危険**
 車での避難は、緊急車両の通行の妨げや、交通渋滞を招く原因となります。また、浸水すると動けなくなりますので、特別な場合を除いては徒歩で避難しましょう。
- ⑤浸水が始まったら**
 浸水が始まった後に移動することは非常に危険です。屋内の高いところに避難して救助を待ちましょう。

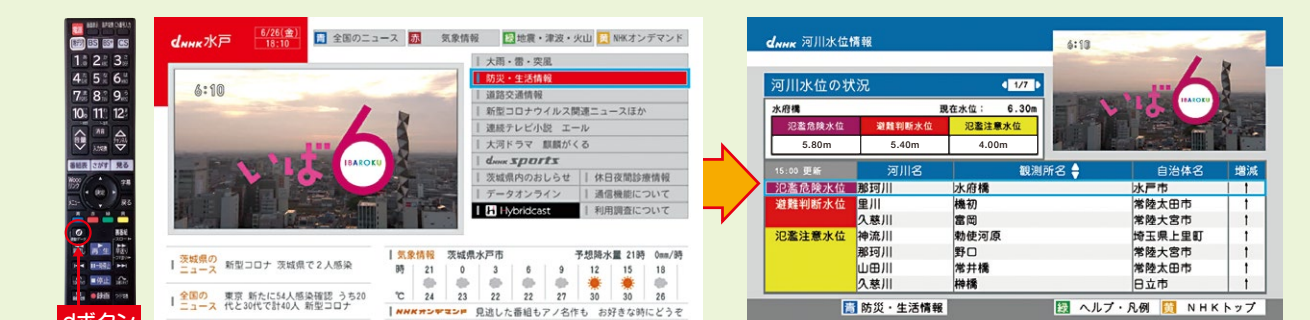
気象・河川水位などの情報入手方法

気象情報を知りたいとき

- 水戸地方気象台の情報
 降雨予測や気象情報などを提供しています。
<http://www.jma-net.go.jp/mito/>
- 気象庁の情報
<http://www.jma.go.jp>

水位の変化を確認したいとき

- NHK総合テレビデータ放送
 河川の水位情報については、NHKのデータ放送により入手できます。テレビをNHKのチャンネル(テレビリモコンの①)に合わせます。ご家庭のテレビリモコンの「dボタン」を押して、TOPメニューの「防災・生活情報」を選択し、「河川水位情報」を選択してください。



※この画面は、はん濫注意水位以上に達した観測所があるときに表示されます。

国土交通省 川の防災情報

沿川のポイント毎の河川の水位、雨量の変化やカメラ画像を確認することができます。
<https://www.river.go.jp/portal/#83>

スマートフォンで情報を確認したいとき

- 防災アプリ
 水戸市では、ヤフー株式会社と連携し、「Yahoo!防災速報」を活用した災害関連情報の提供をしています。

その他

- テレホンサービス(24時間対応) 電話:029-240-4102
 常陸河川国道事務所テレホンサービスで雨量、水位情報を確認できます。

洪水予報の水位

●水府橋地点水位が危険になると予想される時の那珂川上流(小口、野口地点)の水位と水府橋到達時間の目安

水位基準	はん濫注意	避難判断	はん濫危険
観測所	水位	水位	水位
小口 水位観測所 (ピーク発生)	5.0m	5.0m	5.5m
野口 水位観測所 (約4時間後)	3.5m	3.6m	4.1m
水府橋 水位観測所 (約4時間後)	4.0m	5.4m	5.8m

水戸市の水害の記録(昭和61年~)

年月日	災害区分	水戸市の被害状況			那珂川上流部の雨量(mm)
		総雨量(mm)	水府橋水位(m)	住家被害(戸)	
1986(昭和61)8.3~8.9	台風第10号	288.5	9.15	床上 2,009	鳥山 303
				床下 605	黒磯 262
					那須 305
1998(平成10)8.27~8.31	大雨(前線)	98	8.43	床上 323	那須 1,210
				床下 245	高林 982
					根室 741
2011(平成23)9.19~9.22	台風第15号	168	8.54	床上 5	矢板 301
				床下 41	室 181
					鳥山 197
2015(平成27)9.8~9.10	台風第18号	89.5	7.15	床下 5	下塩原 672
					板室 408
					高林 282
2017(平成29)10.21~10.24	台風第21号	113.5	5.78	床下 2	下塩原 266
					板室 157
2019(令和元)10.12~10.16	台風第19号	141.5	9.84	床上 396	板室 242
				床下 182	矢板 360
					鳥山 227

※本表は、近年の水害のなかでも、特に水府橋水位が上昇したものを抜粋掲載しています。

「マイ・タイムライン」を作成しておきましょう!

「マイ・タイムライン」とは、台風や大雨により川の水がはん濫するまでに自分がどのような行動を取るべきか時系列的に記載しておくことで、災害への備えとなるものです。

下の表を活用し、避難の仕方を完成させましょう。

【私たちの避難する場所:】

国土交通省などから発信される情報等	私たちの避難行動	避難行動の記載(例)
①台風発生、大雨注意報・洪水注意報が発令		●台風の進路や、今後の雨の情報などを調べ始める。 ●避難するときに持っていくものの準備。 ●家族全員の予定を確認。
②水防待機水位到達 那珂川水府橋水位3.0m 警戒レベル1相当		●雨や川の様子に注意。 ●住んでいる所と上流の雨量を調べ始める。 ●川の水位を調べ始める。
③はん濫注意水位到達 那珂川水府橋水位4.0m はん濫注意情報 警戒レベル2相当		●避難に備え準備を始める。 ●洪水ハザードマップ等で避難場所や避難経路の確認。 ●水戸市から発信される情報の確認。
④避難判断水位到達 那珂川水府橋水位5.4m はん濫警戒情報 警戒レベル3相当		●水位や避難情報の確認。 ●近所の人と連絡を取り合う。 ※高齢者や体の不自由な方などがある場合や移動に時間がかかる人は早めに避難を開始。
⑤はん濫危険水位到達 那珂川水府橋水位5.8m はん濫危険情報 警戒レベル4相当		●避難開始(避難場所:) ※家族や近所の人とまとまって避難。 ※浸水などにより外が危険な場合には屋内の高いところに避難。
⑥はん濫が発生 はん濫発生情報 警戒レベル5相当		●屋内の高いところに避難し、救助の要請。

日頃からの備え

●非常持ち出し品リスト

日頃から非常持ち出し品を備えておきましょう。(必要なものをチェックしましょう)

非常持ち出し品は、家族構成を踏まえ必要最小限の物を用意し、すぐ取り出せる場所に置きましょう。荷物を増やしすぎると、スムーズに避難できなくなりますので注意しましょう。

- 応急医薬品 救急、医薬品、マスク、常備薬の予備等、包帯、お薬手帳等(普段から薬を飲んでいる方は、薬名や数量をメモし、避難時に持ち出せるように備えましょう。)
- 非常食品 飲料水(目安:1人1日3食を3日分)、乾パン、缶詰など(火を必要としないでも食べられる等の非常食(目安:3日分))
- 情報機器類 携帯電話、スマートフォン、充電器、携帯ラジオ等
- 照明器具 懐中電灯、電池、ろうそく、マッチ、ライター等
- 日用品 衣類、タオル、洗面用具等
- 貴重品 現金、預金通帳、印鑑、権利証書等

●災害時伝言ダイヤル171

171番にダイヤル

伝言を録音する場合(網誌番号なし) 1 (OOO)□□-XXXX → 伝言を吹き込む
 (網誌番号あり) 2 →△△△ (OOO)□□-XXXX
 伝言を再生する場合(網誌番号なし) 4 →△△△ (OOO)□□-XXXX → 伝言を聞く
 (網誌番号あり) 2 4 →△△△ (OOO)□□-XXXX

●体験利用提供日
 ●毎月1日、15日 0:00~24:00 ●正月三日(1月1日0:00~1月3日24:00) ●防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)
 ●防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

●わが家の防災メモ あらかじめ記入し、家族みんながわかる場所に置いておきましょう。

■家族の連絡先

家族の名前	連絡先(勤務先・学校)	住所	電話

■家族の救急用データ

家族の名前	生年月日	血液型	アレルギー	常備薬	病気